

第3期 宇和島市子ども・子育て支援事業計画（案）に対する パブリックコメントの募集結果について

1. 概要

令和7年3月をもって第2期計画の期間が満了することに伴い、引き続き、すべての子どもたちが健やかに育ち、また、安心して産み育てることができる環境づくりを目的とした「第3期宇和島市子ども・子育て支援事業計画（案）」を策定しました。

このことにつきまして、市民の皆さまからご意見を募集した結果、6人の方からご意見が寄せられました。いただいたご意見等のうち計画に関する箇所を抽出し、それらに対する市の見解について、次のとおり公表いたします。

ご意見をお寄せいただきました皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

2. 意見募集の概要

(1) 募集期間

令和7年2月10日(月)から令和7年2月24日(月)

(2) 募集方法

Web フォーム、電子メール、郵送、ファックス、直接持込み

(3) 周知方法

宇和島市ホームページ、こども家庭課、(園児保護者に対する)マチコミメール

3. 結果

(1) 意見の提出方法

内訳

Web フォーム	電子メール	郵送	FAX	持込み	合計
6名	-	-	-	-	6名

※ うち1名分については、個別具体的な内容のため、別対応

(2) 意見の概要及び市の対応

9件

「基本目標2	推進施策1	受入れ体制の整備と人材の確保（P54）」	1件
「基本目標5	推進施策1	子育て家庭への経済的支援と貧困対策（P63）」	1件
「基本目標5	推進施策3	障がいのある子どもへの支援の充実（P65）」	1件
「その他」	6件		

なお、このうち、本計画に直接関係のない意見につきまして、参考意見とさせていただきます

意見（１）			
意見の概要	①		その他
	遊具や公園の改装 こもりんを例に挙げていますが、こもりんを利用する家庭は位置もあり限られていると思います。公園や遊ぶ場所が他の市に比べて少ないように感じるのはなぜでしょうか？三間の遊具もできるだけ早く改善していただきたいです。		
	②	P54	基本目標 2 推進施策 1 受け入れ体制の整備と人材の確保
	保育園、小学校教育環境 子供が減るからといって、職員の数を減らさないでいただきたいです。子供減っても業務内容は減りません。二名小では職員がいないため、地域の住人や家族へ協力を仰いでます。先生にも子供達にも優しい教育現場を提供してください。		
市の対応	①	現在、児童館こもりんやパフィオ以外に市内には100箇所以上の公園があります。 市が管理する公園の遊具につきましては、年に一回、定期点検を実施し、修繕等の対応を行っておりますが、設置から長期間が経過し老朽化した遊具については、順次更新を行っております。また、遊具更新にあたりましては、インクルーシブ遊具の設置も検討するなど、安全に安心して活用できる公園にしたいと考えております。	
	②	保育士につきましては、多様化する保育ニーズに対応するため園児数に対して職員数が不足とならないよう保育士確保のための取り組みを実施しております。 公立小中学校の教員については、基本的に学級数に応じて配置人数が決められております。なお、本市では、学校生活支援員やスクールサポートスタッフ等を配置して、個に応じた支援や教員のサポートに努めているところです。	

意見（２）			
意見の概要	①		その他
	パフィオなど児童館などありがたい施設ですがショッピングモールなどがあれば母も子も楽しめて息抜きになる。松山まで車で移動しなければいけないのはなかなか1人だと大変で結局あきらめる。南予に来てくれたら高知からも来てくれてプラスな事も多いのでは？三間は土地が広いのでこのまま放置しておくのは勿体無いと思います。		
	②		その他
	子育て給付金も２歳までとなっていますが何故２歳なんですか？ずっとお金はかかります。２歳以降の方がお金かかります。		
	③	P63	基本目標５ 推進施策１ 子育て家庭への経済的支援と貧困対策
保育料も０歳から無料にしていだけたらかなり助かります。今は子供が病気で仕事休む事が多くて保育料払っているのが悲しくなる時あります。			
市の対応	①	商業施設の誘致については企業の経営判断によるものが大きく、困難と思われますが、既存施設の活用及び遊具等の修繕、更新により充実を図ってまいります。	
	②	３歳児以降は、幼児教育・保育の無償化が適用される一方、子育て応援給付金は、（出生後）それまでの経済的負担の軽減を目的としております。	
	③	保育料を全体的に減額するとともに、第２子以降の保育料を無償とし、子育てに係る経済的負担の軽減に努めております。	

意見（３）			
意見の概要	①		その他
	子育てを支える基盤づくり 宇和島は人口減少が激しくピーク時と比べ約6万人が減っている。高齢化も進み消滅可能性自治体にも指定された。原因は大学がなく若者が流出していること、市民の高齢化が考えられる。少子高齢化のため子供もかなり少ない中どうするか。それは子育て世代への支援を手厚くし負担軽減プラス出産時の手当をより手厚くするなどが良いと思う。そしてそれを売りにすることで子育て世代が宇和島に入ってくるのではないかと。資金が足りないかもしれないが、6万人いるうちにやらないと人口減少はさらに加速すると思う。		
市の対応	①	出会い・結婚から妊娠、出産、子育てに至るまで総合的に支援するため、様々な事業に取り組んでいるところです。 出産時には、妊娠期からの伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行う出産・子育て応援事業、本市独自の取組として新生児と満1歳、満2歳に10万円を支給する子育て応援給付金事業、第1子から5万円の紙おむつ券を交付する子育てスタート応援事業、育児用品の無料レンタル事業などを実施しております。 子育て支援については、児童手当拡充のほか、子ども医療費の助成対象拡大、保育料やファミリーサポートセンター利用料、放課後児童クラブの利用料などの軽減措置を拡大しております。また、婚姻数の増加を目指し、婚姻時の経済的支援、婚活イベントやセミナーの開催などの結婚支援事業や経済的な理由で出産を諦めることがないよう、若年出産世帯奨学金返還支援など経済的支援にも取り組んでおります。	

意見（４）			
意見の概要	①	P65	基本目標 5 推進施策 3 障がいのある子どもへの支援の充実
	相談体制の整備 巡回支援専門家の確保とありますが、巡回支援の対象の拡大（現在は就学前のみ対象、個人的には小学校）や保育所等訪問支援の実施の検討もお願いしたいです。宇和島市内で実施事業所が少なく選択肢がないです。それと、相談支援専門員の質の向上		
市の対応	①	巡回支援（巡回支援専門員整備事業）について、小学校への対象拡大について検討いたします。保育所等訪問支援は、現在、市内の児童福祉サービス提供事業所のうち、3事業所にて実施しております。 相談支援専門員の質の向上を図るため、宇和島市地域自立支援協議会を通じて、スキルアップ研修や事例検討会、情報共有の場を定期的に設け、実践的な知識や対応力の強化を支援します。 また、関係機関との連携を深めることで、より包括的な支援体制の構築を目指します。	

意見の概要（５）			
計画における 該当箇所	①		その他
	官民一体世代超越多目的デマンドバスの運営 時間や目的が違うから本当に現実的には民間会社との連携は難しいとは思いますが、あえてお年寄りが必要な買い物、病院などの用事と子供の塾やクラブ活動などの送迎をドッキングさせるのはいかがでしょうか。デマンドバス利用は免許を返納した独居老人というイメージが強いですが、単身世帯が増えるこの地域では、目的地にさえ辿り着ければ、スクールバスでもタクシーでもコミュニティバスでも民間スーパーの送迎バスでももう何でもいような気がしてきます。		
	②		その他
	環境整備（通学路 公園 児童館 私塾 スポーツクラブ など） 昨今の異常気象です。 大雪時の倒木リスクもそうですが、これほど空き家や後継者がいなくなった未整備の山林、竹林が増えていくと本当に危険な通学路が多々あります。 県道でも国道でも公道によたれかかってくる空き家となった家の車庫や倉庫などあちこちで見かけます。 無縁仏にゴミ屋敷問題、都会に行ったまま帰ってこない家、多々あります。同年代、同じ年頃の子供を持つママ友が周りに多いベッドタウンに比べ、そのような昭和遺産危険箇所がある地区に若い人が嫁いで子育てしたいと思うでしょうか。 空き家 撤去法、はみ出し雑木 強制伐採など、環境整備に努めてる自治体のいい事例を施行して欲しいです。		
市の対応	①	宇和島市では、民間の路線バスなどを補完する形で、利用者を限定することなく、主に路線バスの廃止地域などで通院や買い物などの日常生活に利用できるコミュニティバスを運行しておりますので、ご理解いただければと思います。	
	②	空き家の管理は、所有者等の関係者の責任において行うことが大原則ですので、周囲に悪影響を及ぼす空き家の情報がある場合には、市から所有者等へ適正に管理するように通知しております。 また、老朽危険空家であれば、除却費用の一部を補助する制度がありますので、補助条件に該当する見込みがある場合には、併せて案内しております。 通学路の安全確保について、宇和島市教育委員会では、学校、各道路管理者、警察、宇和島市を構成員として、宇和島市通学路安全対策連絡協議会を設置し、情報提供があった通学路の危険箇所を共有し、対策や改善等を行っております。	